

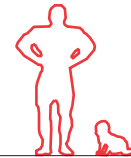
身体寸法

実測した結果に基づいて、それぞれの縮尺で自分自身の身体図を描いてみましょう。

S=1/50



S=1/100



S=1/150



S=1/200



線の練習

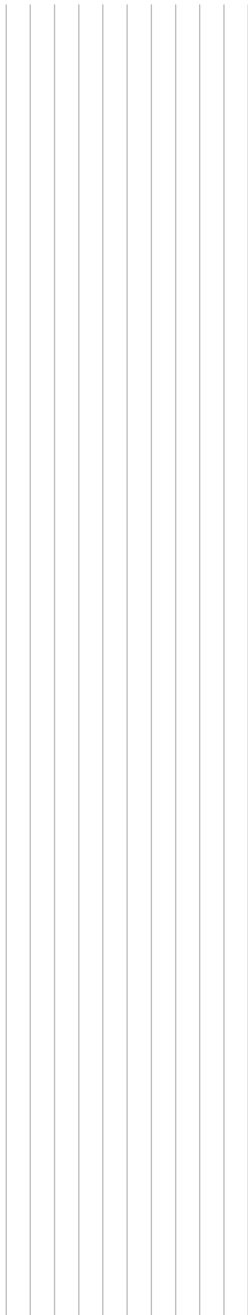
線の練習をします。

図面は線画ですが、その太さや種類の違いによって、様々な意味が与えられ、複雑な形態も正確に表現できるようになります。線の太さの僅かな違いで、意味が大きく変化することもあります。

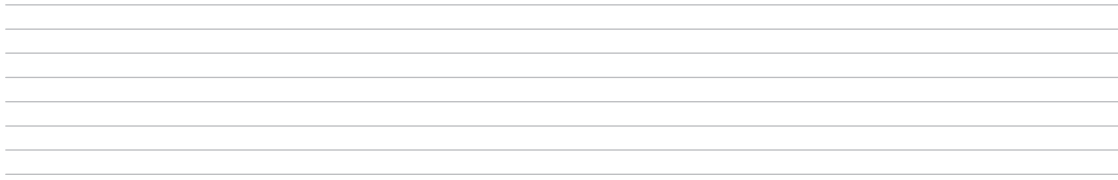
精神集中してできる限り正確に描く姿勢が求められます。この姿勢はコンピュータを用いた CAD 製図においても同じです。

ここでは、定規を使って様々な太さや種類の違いを描き分ける練習をしましょう。

■垂直線の練習(3mm間隔)



■水平線の練習(3mm間隔)



■水平線を描き分ける練習(3mm間隔)

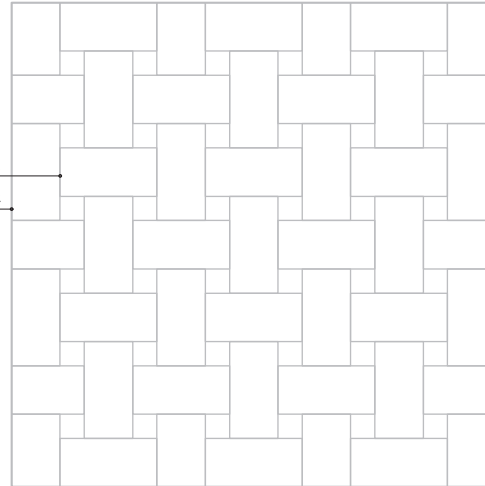


実線・太線
実線・中線
実線・細線

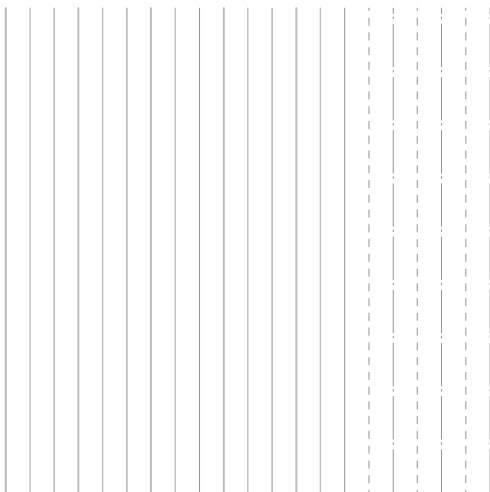
実線・中線
実線・太線

破線・細線
一点鎖線・細線

■応用練習1



■垂直線を描き分ける練習(3mm間隔)



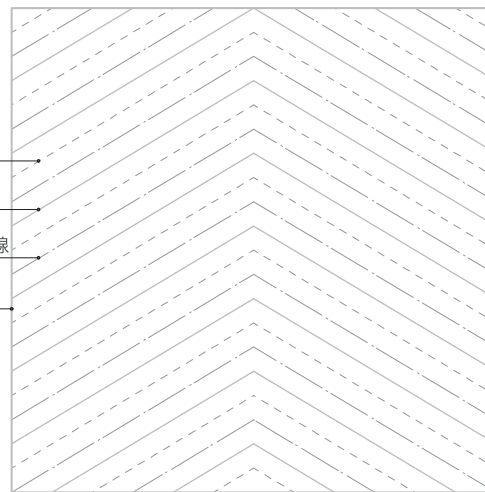
破線・細線

実線・中線

一点鎖線・細線

実線・太線

■応用練習2



線の練習

続いて、ガイドラインなしで作図してみましょう。

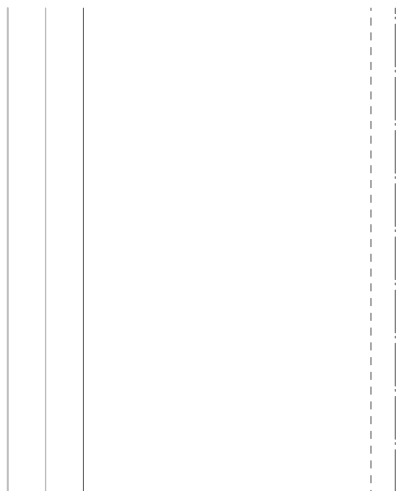
■垂直線の練習(3mm間隔)

■水平線の練習(3mm間隔)

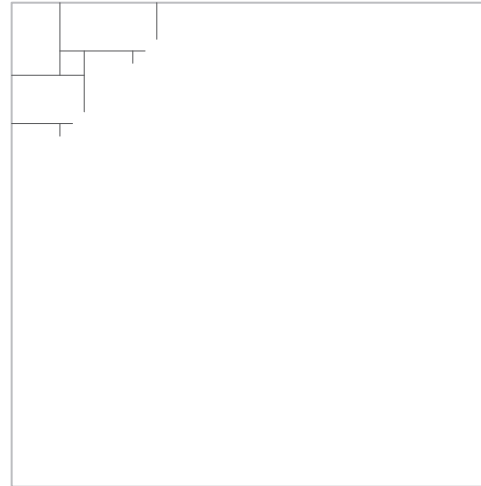
■水平線を描き分ける練習(3mm間隔)



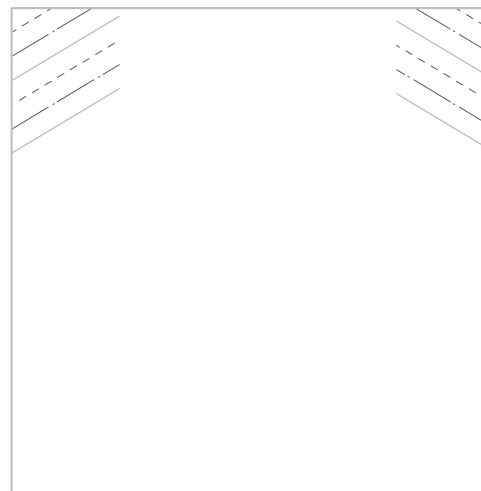
■垂直線を描き分ける練習(3mm間隔)



■応用練習1



■応用練習2

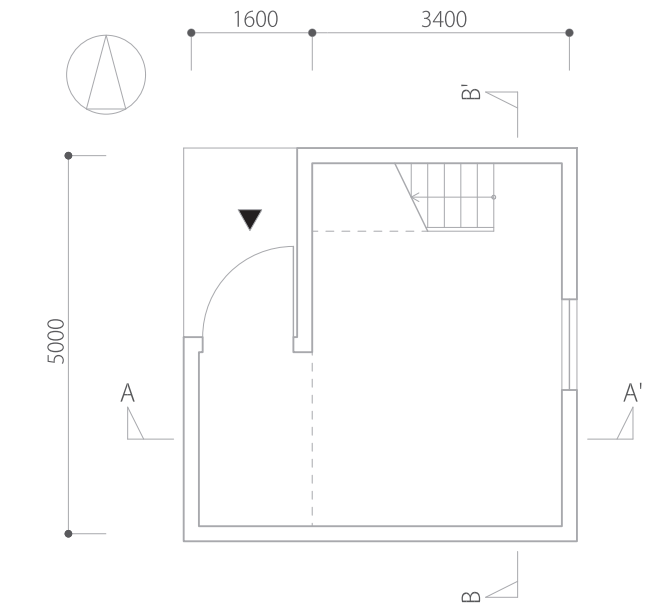


ヴォイドとマッス

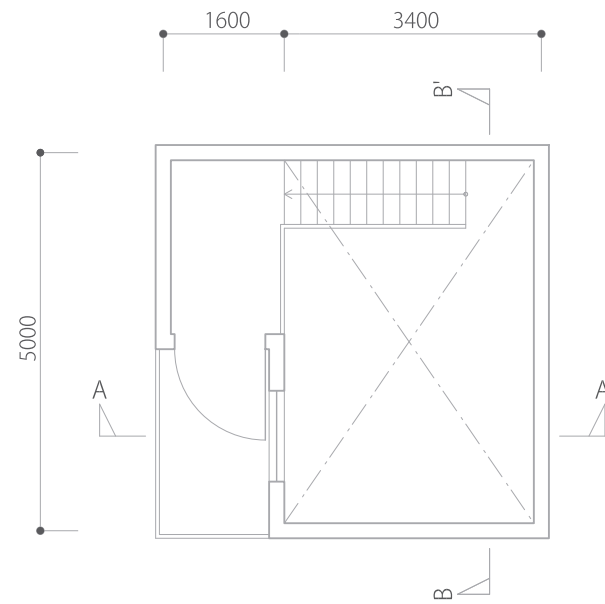
図面からヴォイドとマッスとを読み取る練習をします。

建物は床・壁・屋根などの基本要素と、それらで囲まれた何もない空間とによって構成されています。この頑丈につくられていて、人が載ったりぶつかったりしても壊れない部分（マッス）と、何もない空間の部分（ヴォイド）とを、しっかりと把握することが空間把握の第一歩です。

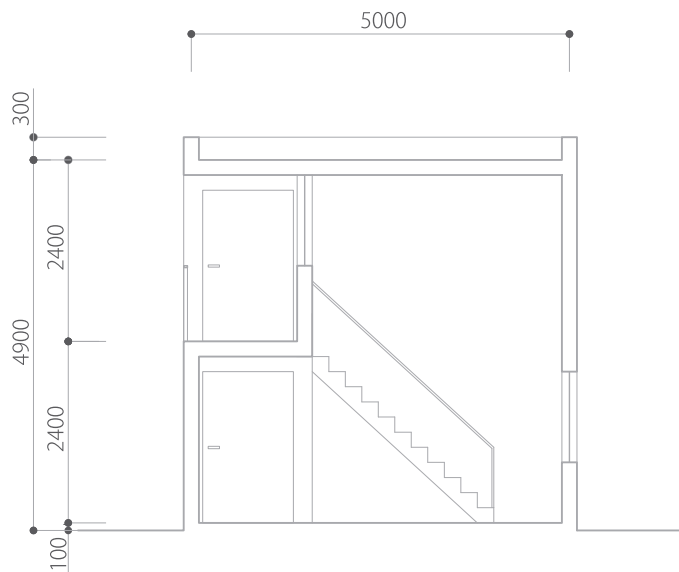
ここでは図面をなぞりながら、床・壁・屋根などのマッス部分を好きな色で着色してみましょう。



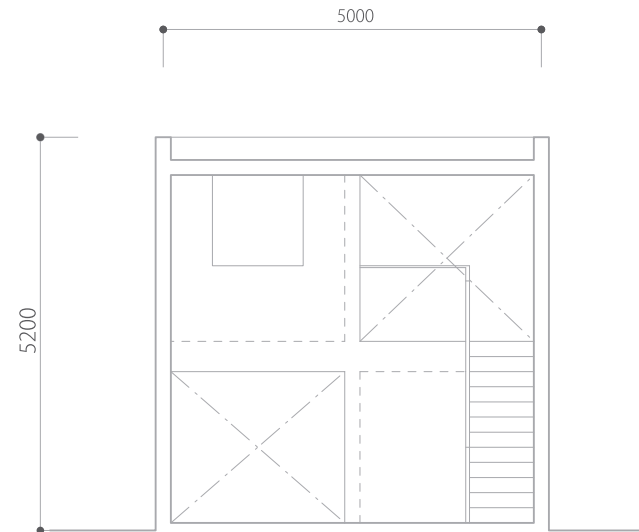
1階平面図 S=1/100



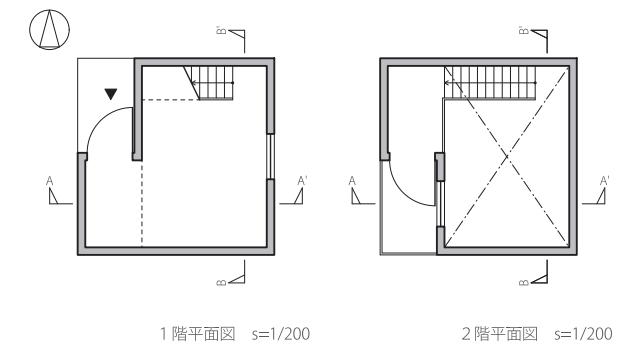
2階平面図 S=1/100



A-A' 断面図 S=1/100

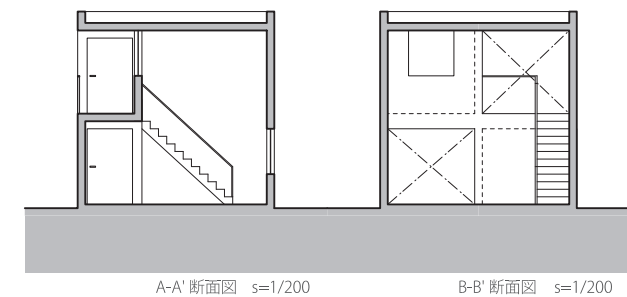


B-B' 断面図 S=1/100



1階平面図 s=1/200

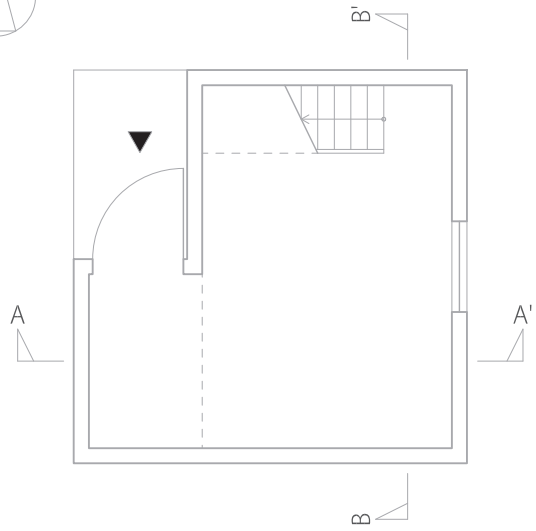
2階平面図 s=1/200



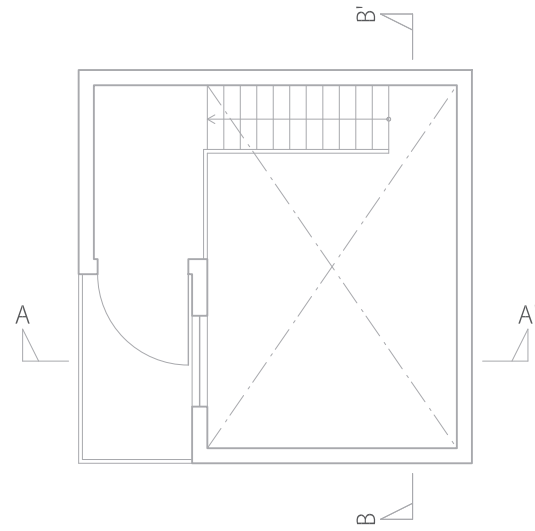
A-A' 断面図 s=1/200

B-B' 断面図 s=1/200

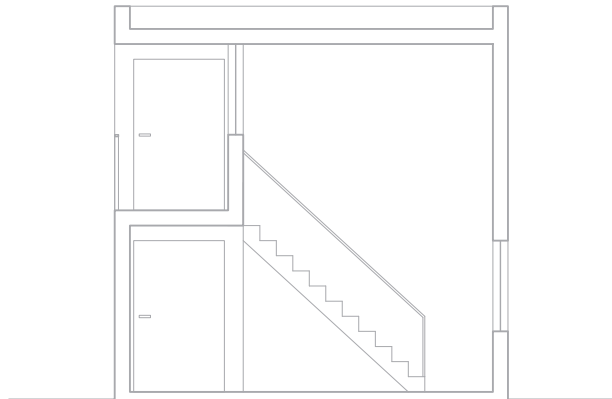
ヴォイドとマッサ



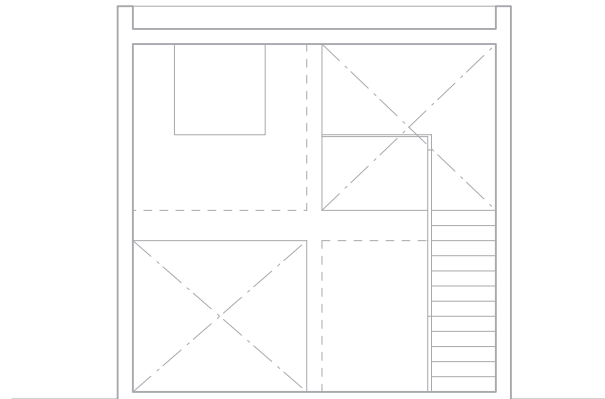
1階平面図 S=1/100



2階平面図 S=1/100



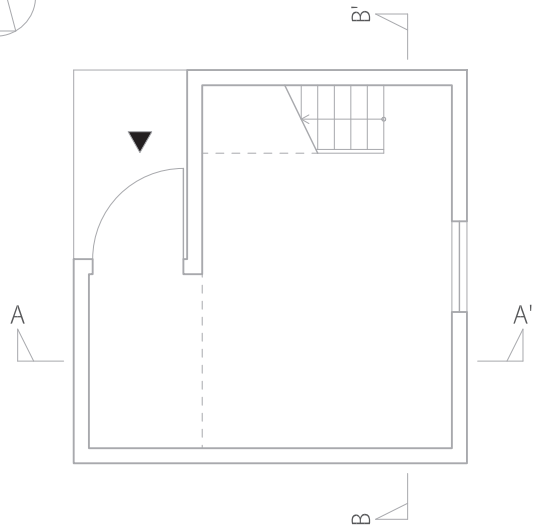
A-A' 断面図 S=1/100



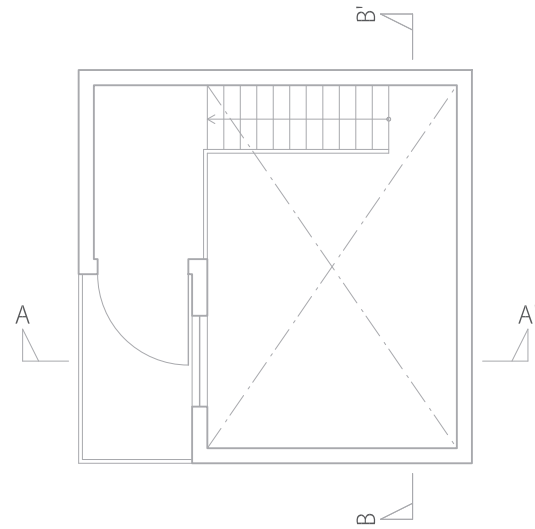
B-B' 断面図 S=1/100

続いて、参考図なしで作図してみましょう。

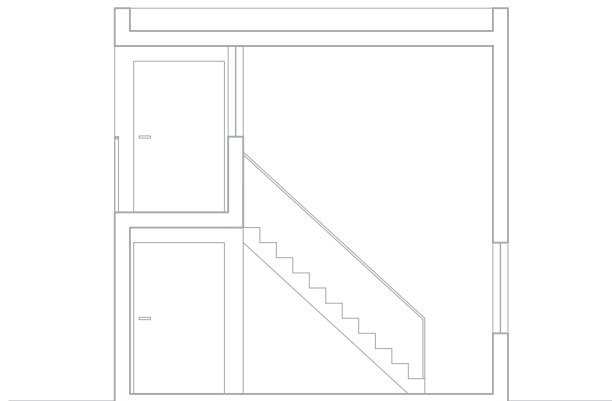
図面をなぞりながら、床・壁・屋根などのマッサ部分を好きな色で着彩してみましょう。



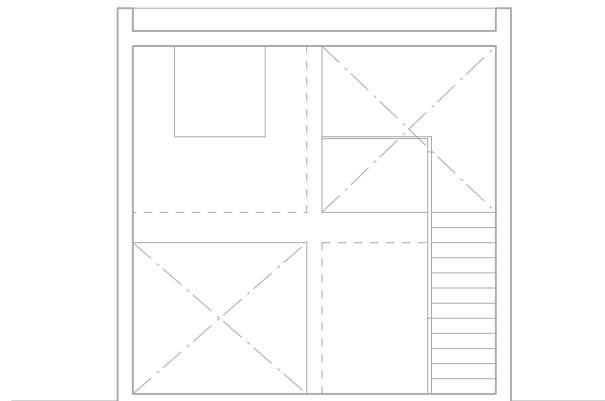
1階平面図 S=1/100



2階平面図 S=1/100



A-A' 断面図 S=1/100



B-B' 断面図 S=1/100

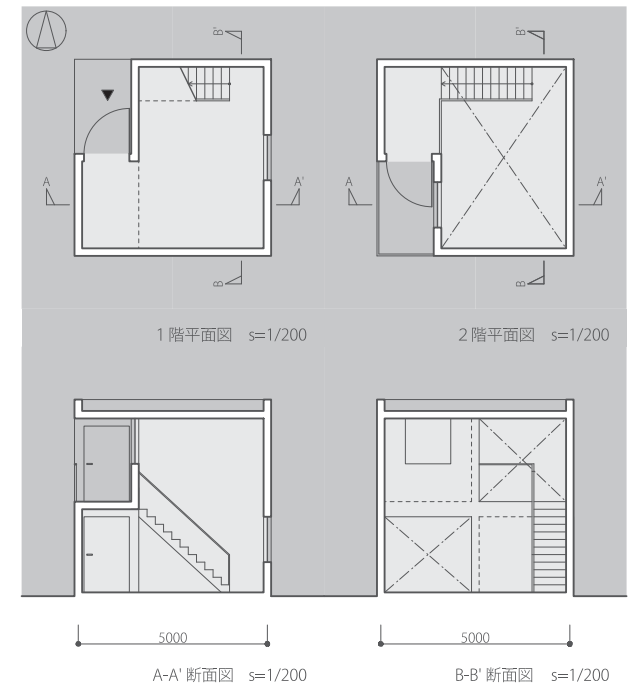
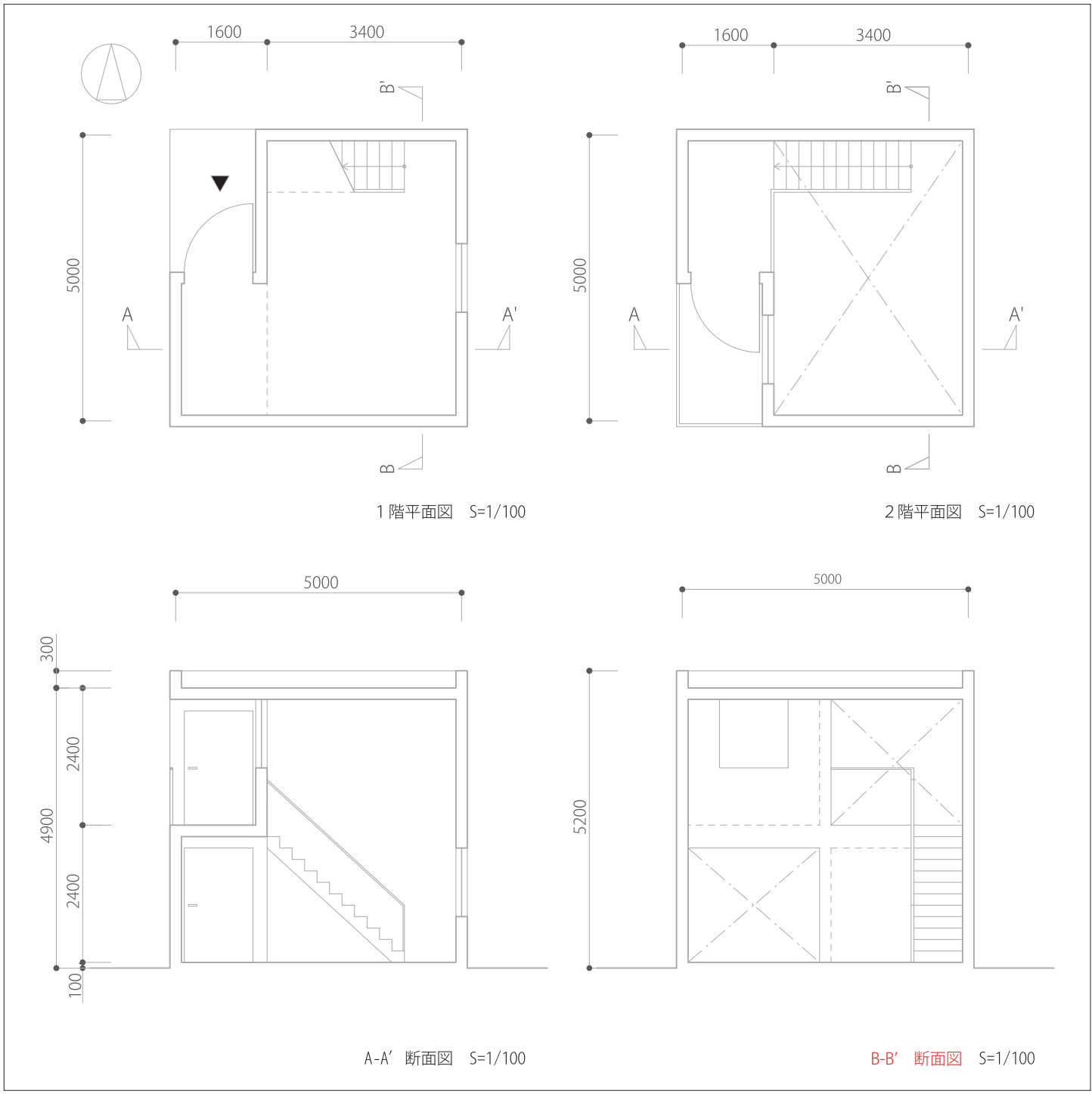
続いて、参考図なしで作図してみましょう。

45° から光が当たっているとして、マッス部分の影をおとしてみましょう。

内部と外部

図面から内部と外部とを読み取る練習をします。

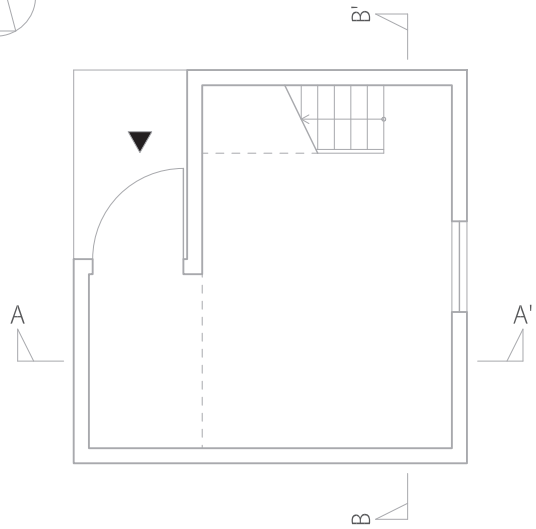
床・壁・屋根などの基本要素で構成されたヴォイド部分は、外部空間（屋外空間）と内部空間（屋内空間）とに大別されます。どこまでが屋外空間で、どこから先が屋内空間になっているかを、しっかりと把握できなければ生活イメージも掴むことができません。ここでは、左の図面をなぞりながら、屋外部分と屋内部分とをことなる色に塗り分けてみましょう。



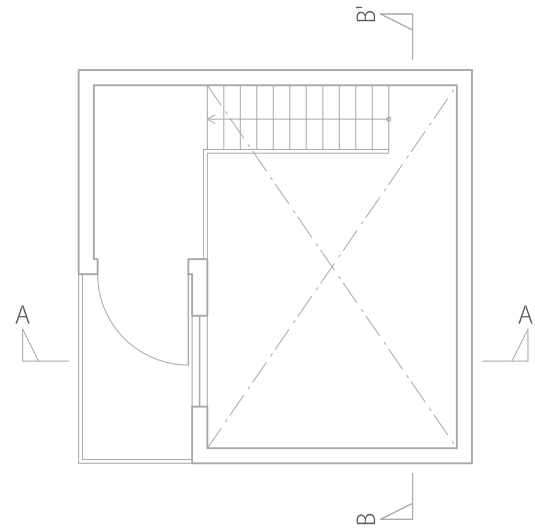
内部と外部

続いて、参考図なしで作図してみましょう。

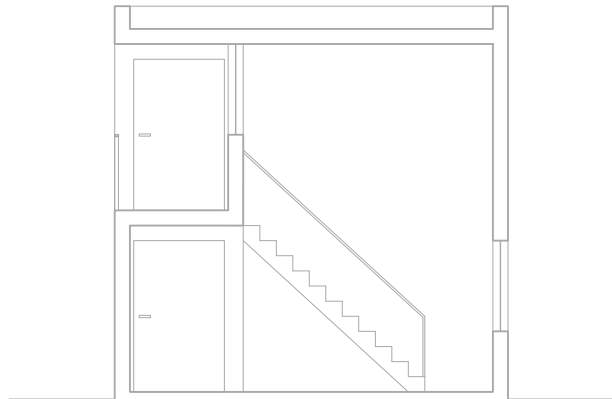
ここでは、左の図面をなぞりながら屋外部分と屋内部分とをことなる色に塗り分けてみましょう。



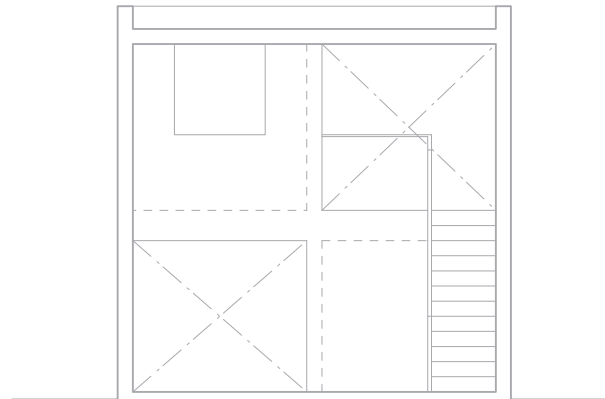
1階平面図 S=1/100



2階平面図 S=1/100



A-A' 断面図 S=1/100

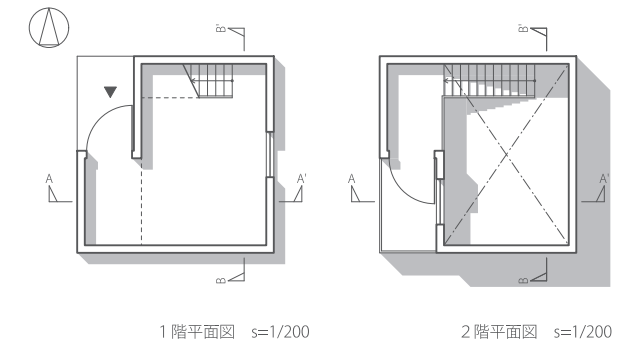


B-B' 断面図 S=1/100

図面から内部空間の光と陰影を読み取る練習をします。

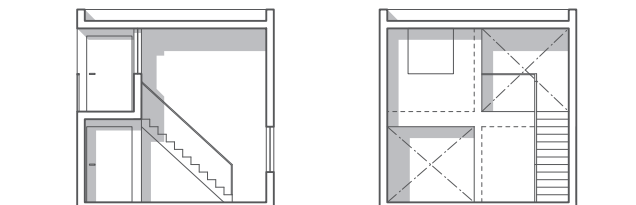
床・壁・屋根などの基本要素で構成されたヴォイド部分には、出入口や窓などの開口部が開けられています。ここを接点に外部空間（屋外空間）と内部空間（屋内空間）とが接続されていて、人の出入りや採光、換気を可能にしています。

ここでは、斜め45°から光が当たっているとして、マッス部分の影をおとしてみましょ。



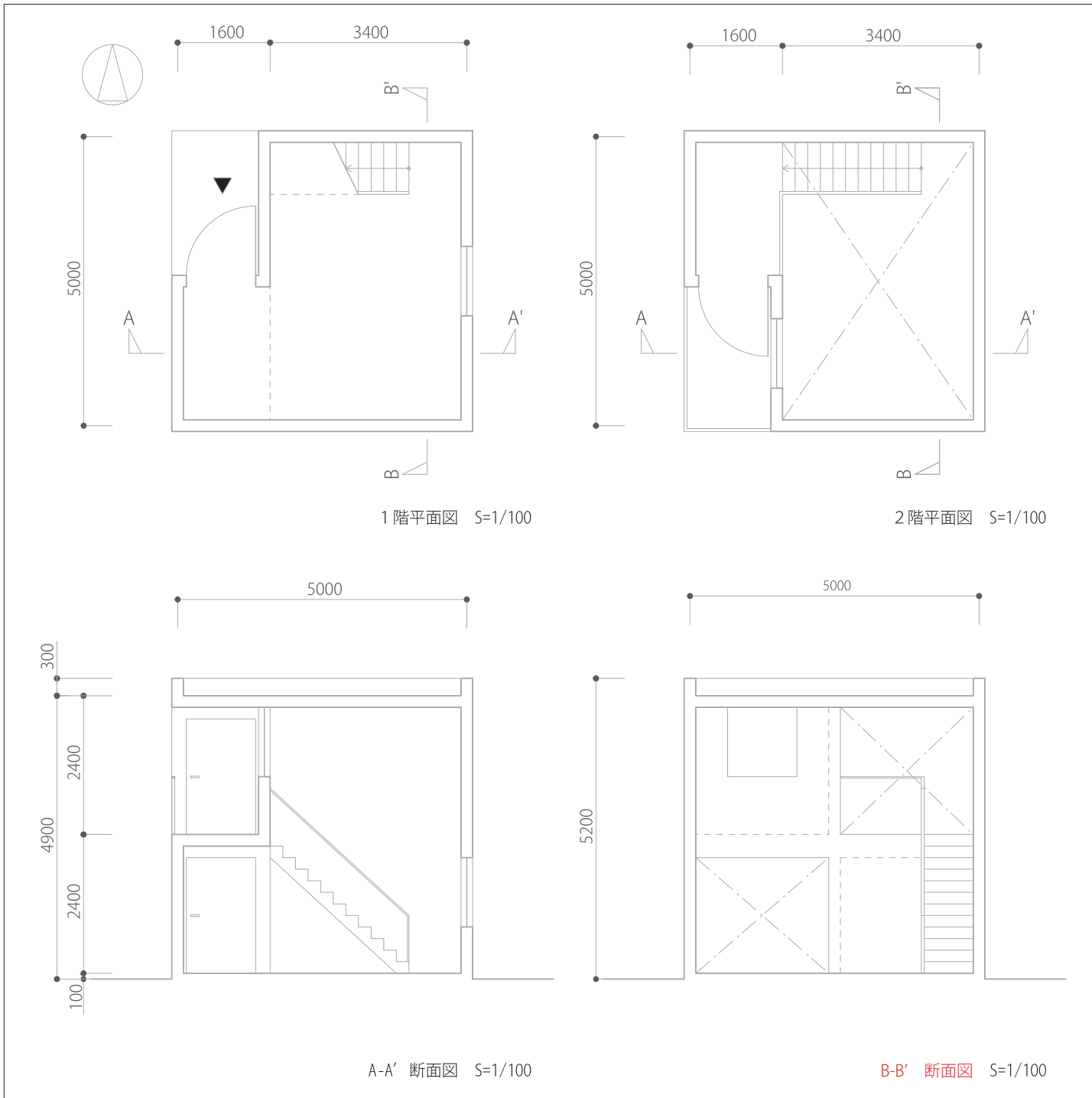
1階平面図 s=1/200

2階平面図 s=1/200



A-A' 断面図 s=1/200

B-B' 断面図 s=1/200



1階平面図 S=1/100

2階平面図 S=1/100

A-A' 断面図 S=1/100

B-B' 断面図 S=1/100